

各 位

会社名 センコン物流株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 久保田 賢二  
 (JASDAQ・コード9051)  
 問合せ先 常務取締役  
 管理本部長 柴崎 敏明  
 電話022-382-6127

### 通期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成29年11月7日に公表いたしました平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせするとともに、平成30年3月期の個別及び連結決算において、特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想と実績との差異について

平成30年3月期通期連結業績予想と実績との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,100	百万円 260	百万円 220	百万円 130	円 銭 27 45
実績値 (B)	15,872	249	284	△ 95	△ 20 07
増減額 (B-A)	772	△ 11	64	△ 225	
増減率 (%)	5.1	△ 4.2	29.1	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	14,681	204	125	147	31 24

#### 2. 差異の理由

当連結会計年度の営業収益につきましては、運送事業及びアグリ事業において受注高が想定値を下回りましたが、倉庫事業において化学製品、情報管理サービスの取扱高が増加したことに加え、乗用車販売事業において新車・中古車販売の増加及び車検・修理等のサービス部門の取扱いが想定を上回ったことなどにより、前回予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、運送事業において自社トラック輸送比率の低下による外注費の増加とアグリ事業において先行投資を含めた営業原価が想定を上回ったことなどにより、営業利益は前回予想を下回る結果となりましたが、経常利益においては営業外費用が想定値を下回ったことと投資有価証券売却益などの計上により、前回予想を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述の内容のとおり第4四半期において貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

#### 3. 特別損失の内容

##### (1) 連結決算

当社の関連会社等(3社)及び当社の物流付帯サービス事業で協力関係にある取引先に対する貸付債権について、相手先の財政状態及び経営成績等に基づき、担保等による回収可能性を総合的に勘案した結果、当社債権の一部について、「金融商品に関する会計基準」に基づき、貸倒引当金繰入額として139百万円を計上しました。

(2) 個別決算

業績回復が遅れている当社の連結子会社(5社)について、財政状態及び経営成績等による今後の事業計画の見直しを行った結果、「金融商品に関する会計基準」に基づき、貸倒引当金繰入額として167百万円を計上しました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は連結決算で相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 配当予想

期末配当につきましては、平成29年5月15日に公表「平成29年3月期決算短信(連結)」いたしました内容から変更はなく、1株当たり7円50銭を予定しております。

以 上